

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・1223 NO64

校長 伊波喜一

遠き空 その空の果て 鎮魂の 道続くかな 平成の旅

この23日は天皇誕生日です。今上天皇の平成の世になり30年。その平成も、再来年をもって幕を閉じます。時代の大きな転換を感じます。昭和の景気の良さと比べられがちな平成ですが、経済がいつまでも右肩上がりゆくのは、稀なことと言えるかも知れません。ともすれば不景気感が強調されがちな平成ですが、平成の特徴を私は、天皇・皇后両陛下による平和友好外交の時代だと思っています。第二次大戦で戦禍にあわれた国々を回られ、多くの方を見舞われました。ご高齢にもかかわらず、戦禍の起きた季節に合わせて過酷な気候の時期に訪問されるのは、誰もが出来る事ではありません。両陛下のお姿から、平和に対する並々ならぬメッセージを汲み取った方も多かったのではないのでしょうか。民間人を巻き込んで地上戦が行われた沖縄では、敵味方双方に多大な犠牲者が出ました。しかし平成に建てられた慰霊碑「平和の礎（いしじ）」には、敵味方関係なく名前を記してあります。この小さな一歩が偉大な一歩に通ずることを、後の歴史は必ず証明してくれる。そう私は信じています。